

帯

の吉祥文様入門

これは覚えよう！柄の由来

よく使用される柄の「なるほど！」吉祥話をチェック！
「松竹梅」の柄でおめでたいですよ！など言いがちですが、
何が？ どう？ おめでたいのでしょうか？
そんな疑問にお答えいたします。

【植物編】

しょう ちく ばい 松竹梅

やっぱり王道！？『松竹梅』

「松竹梅だからめでたいですよ！」と言いがちですが何が？どう、めでたいのか？」と聞かれると困る方が多いと思います。

「松竹梅」は中国が発祥の「歳寒三友」が元になっています。

松と竹は寒中に耐え、色褪せず緑を保ち、梅は寒中のなか最初に花開き、「清廉潔白・節操」と、厳しい時代に持つべき友という意味があり、書画などの題材として好まれました。日本ではお正月の植物としてイメージが合い、新年のお祝いに門松などで表現されます。

また、「松」は「待つ」・「竹」は「竹園といい皇室や君主」を「梅」は「産め」と当てはめ、「良い子を産む」とされ、婚礼の席に好まれました。

中国では「松竹梅」より「四君子（蘭竹梅菊）」のほうが人気とされています。

し くん し 四君子

『蘭・竹・梅・菊』

君子とは中国で「徳」「学識」「礼儀」などを具えた偉人とされ、それに当てはまる四季を代表する植物として「蘭（春）竹（夏）菊（秋）梅（冬）」が選ばれ、書画の素材として使われました。

『蘭』は春の気品ある香を持ち、『竹』は夏にまっ直ぐ成長し、『菊』は晩秋の寒さの中鮮やかに咲き、『梅』は寒中を耐えて最初に咲く花として描かれます。